

## 令和2年度 校内研究について（案）

研究推進委員会

### 1 研究主題

**自分の思いや考えを伝え合い、地域や世界とつながろうとする児童の育成  
～本物で必然性のある外国語活動・外国語科を通して～**

### 2 研究主題設定の理由

- 2年間外国語活動・外国語の研究を続けてきた成果と課題を踏まえて
- 小学校外国語の教科化本格実施初年度
- 文科省からの特例指定校の指定（2年間）を受けて
- 前年度の成果と課題から

	1・2年	3・4年	5・6年	全体	指導者
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動をやりながら次への意欲を引き出す。</li> <li>・歌・チャンツで楽しみながら習得。</li> <li>・苦手な児童も参加。</li> <li>・ピアサポート</li> <li>・繰り返しの活動で自信や思いの広がり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある単元構成</li> <li>・主体性</li> <li>・日常のコミュニケーション能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やってみたいと思わせるゴール設定。</li> <li>・どうすれば伝わるか、何とかして伝えようという気持ち。思考力。</li> <li>・中間交流</li> <li>・間違えてもいい学級づくり。</li> <li>・ボランティア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積み重ね</li> <li>・日常で英語に触れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語が好き。</li> <li>・自信</li> <li>・指導体制</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいは必須だが、それだけにならないように。</li> <li>・他教科等と結びつける難しさ。</li> <li>・個人差</li> <li>・Activityの開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返すことが楽しいにつながらない。</li> <li>・意欲が高まる難易度の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間管理</li> <li>・書くこと読むこと</li> <li>・普通の授業のゴール設定</li> <li>・わからないと楽しめない。</li> <li>・新教科書への対応</li> <li>・CAN-DOリストの作成と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> <li>・評価</li> <li>・アンケート「楽しい」</li> </ul> <p>95%→ 90%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語力</li> </ul>

- 福原先生から・・・地域とのつながり、必然性大切に。

慣れ親しんだ英語から「書くこと」「読むこと」へ  
評価—どの教科も不安

☆目指す児童像☆

低学年	初歩的な英語で聞いたり話したりすることを楽しみ、身近な人とつながろうとする子ども
中学年	初歩的な英語で聞いたり話したりすることに慣れ親しみ、地域のものや人とつながろうとする子ども
高学年	基本的な英語を使って、社会や世界とつながろうとする子ども

## (2) 研究計画

1 学期・・・研究計画の作成，研究組織・研究内容の決定

児童アンケート※内容再検討

単元構成とカリキュラムマネジメント

CAN-DOリスト作成

研究授業

夏休み・・・職員研修 ※福原先生

指導案検討・作成

2 学期・・・研究授業

3 学期・・・研究の反省，まとめ，来年度の計画

特別支援学級・音楽科の授業公開

5月 上旬		児童アンケート	
5月 27日	水	指導案検討	
6月 9日	火	研究授業 講師：福原先生	5年
8月 4日		校内研修 講師：福原先生	
8月 26日	水	指導案検討	
9月 25日	金	研究授業 講師：福原先生	4年 6年
10月 28日	水	指導案検討	
11月 10日	火	研究授業 講師：福原先生	1・2年 3年
12月上旬		児童アンケート	

☆研修所の研修と兼ねれば，県の先生をお呼びできる。

## (3) 研究組織

